

## 第1回感染症研究拠点整備に関する連絡協議会議事要旨

- 1 日時 令和5年3月29日（水）15:30～15:41
  - 2 場所 長崎大学高度感染症研究センター本館会議室ほか（Web開催）
  - 3 出席者 4名
    - 寺原朋裕（長崎県福祉保健部長（石田智久福祉保健部次長代理出席））
    - 水蘆 崇（長崎市市民健康部長）
    - 調 漸（長崎大学高度感染症研究センター副センター長）
    - 柳 雄介（長崎大学高度感染症研究センターセンター長）
  - 4 欠席者 なし
  - 5 オブザーバー
    - 南川一夫（文部科学省研究振興局先端医科学研究企画官）
  - 6 事務局（長崎大学）
    - 渡部康一（学長特別補佐（BSL-4担当）・同センター教授・リエゾン推進室長）、
    - 中嶋建介（同センター教授・バイオリスク管理部門長）、
    - 栗原 瞳（研究国際部高度感染症研究支援課長）
  - 7 議事
    - 議事に先立ち、事務局から、長崎県から寺原委員の代理として石田福祉保健部次長が代理出席していること、また、オブザーバーとして文部科学省から南川企画官が出席していることの報告があった。
- （1）地域連絡協議会の改編について
- 事務局から、資料1の規約案に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。また、同規約第3条第1項第9号の「その他三者連絡協議会が必要と認めた者」として、現公募委員の中から委員を委嘱することとし、その人選については、同項第8号の「有識者」の人選と併せて長崎大学に一任することが了承された。説明及び質疑応答の大略は次のとおり。
- （事務局（渡部教授））感染症研究拠点の整備については、BSL-4施設が竣工し、施設の試運転・検査、実地訓練を始めており、拠点の形成から利用へと進む状況にあり、今年度の長崎大学における感染症研究拠点整備に関する地域連絡協議会（以下「現地域連絡協議会」という。）においても数回にわたり意見交換を行った。そのうえで、協議会という枠組みのもとに、これまでの拠点の形成に関する議論を行う場から、施設の運用状況や安全に関するなどを周辺地域の皆様と共有し考えていく場に衣替えしたいと考えている。現地域連絡協議会は、本会議の合意のもとに設置されていることから、今回の長崎大学高度感染症研究センター実験棟の運用に関する地域連絡協議会（以下「新地域連絡協議会」という。）の設置と、併せて現地域連絡協議会の廃止について、資料1のとおり提案したい。
- （調議長）今まででは世界水準の安全性を備えた施設を造ることについて協議していただいたが、今後は安全な運用を見守る形の協議会に衣替えしたいという提案である。意見等があればお願いしたい。
- （調議長）現地域連絡協議会でも複数回にわたり議論を行い、その意見を反映し、ご理解をいただいたところである。

意見がないようなので、本提案についてはご了承いただいたということにしたい。

(調議長) 次に、ご了承いただいた規約の第3条の構成について大学から提案したい。

(事務局(渡部教授)) 規約上充て職になつてない委員についてお諮りしたい。新地域連絡協議会では委員の公募は行わないこととしているが、これまで公募委員を長く務めてきた方は近隣住民でもありつつ、これまでの経緯を熟知しており、地域の代表というより、少し俯瞰して見ることのできるアドバイザーのような立場でこれからもお力添えをいただきたいと考えている。については、規約第3条第1項第9号の「その他三者連絡協議会が認めた者」として現公募委員の中から委員を委嘱することとし、その人選については大学に一任いただくこと、また、規約第3条第1項第8号の「有識者」の人選についても、事務局である大学に一任いただくことについてお諮りしたい。なお、人選については、これまでの委嘱の状況等を踏まえ、適切に行いたい。

(水蘆委員) 今回の規約には公募委員の規定がないが、市議会の教育厚生委員会において、現地域連絡協議会で活発に発言する公募委員については新地域連絡協議会の構成委員とすることを検討すべきとの意見があった。市としても、これまでの現地域連絡協議会の経過等も踏まえ、「その他三者連絡協議会が認めた者」として、現公募委員の中から新地域連絡協議会委員を検討することは意義深いことであると考えるので、是非検討をお願いしたい。

(事務局(渡部教授)) 市議会でそういう意見があったことも踏まえた提案である。

(調議長) 活躍していただいた現公募委員には、これまで説明してきたことがきちんと守られているかどうか、引き続き新地域連絡協議会でもご意見をいただくという観点から提案したものである。

(石田代理) 有識者委員はどのような方を考えているのか。

(事務局(渡部教授)) 現在のところ、有識者については、実務として安全対策に関係する方、またこれまでの経緯も含めて意見が期待できる方として、大学病院、医師会、弁護士などに依頼をしたいと考えている。

(石田代理) 承知した。

## (2) その他

なし

—以上—